

第六次大野市総合計画前期基本計画（素案）に係る パブリックコメントの意見について

1 実施状況

- (1) 募集期間 令和2年11月30日（月）から12月14日（月）まで15日間
 (2) 意見提出状況 9人、12件（15個）

2 意見の概要

項目	番号	意見の概要	反映 (案)
1：子育て	1	大野市の子育て支援は、そんなに悪くないと息子から聞いている。もっとアピールしたらどうか。	
	2	<みんなができること> ①夫婦一緒に協力し、楽しみながら家事や育児を行います。 ②家族一緒に食事をし、団らんの時間を持ちます。 ③子育て中や不妊治療を受けている人が柔軟に働けるよう応援します。 ④妊婦さんや子供連れの人に親切にします。 ⑤子どもが事故や犯罪に巻き込まれないよう地域で見守ります。	追加
2：学び	3	子供、学び、児童生徒の教育環境の整備について 国の緊急教育政策として、教育のデジタル化がある。市としてデジタル教科書をどのように使い、今までの紙の教科書とのバランスをつけていくのか、保護者は不安を持っている。学力や生活習慣に及ぼす影響も検証されていない状況で、安易に導入すると大問題を生むことになり、教育現場も混乱すると思われる。自治体が負担することになる費用は、コロナの影響で冷え込む経済のもとで大丈夫なのか。電子媒体を使いこなせる家庭は少ないのではないか。先進事例を収集し、有識者の意見も参考に、子どもたちが実験材料にならないように、大野市独自の教育理念の基にデジタル化を考えてほしい。	
8：商工業	4	<現状と課題> (1)「現状①」と「課題①」について 後継者不足により廃業となっているのは、小売店だけではないと思う。他の業種も含めて書かれてはどうか。 (2)「現状⑦」について 「電子・デバイス産業が地域経済を牽引し」との記述があるが、そういう実感がない。これが事実で、何かの統計調査から引用しているのであれば、それが分かるように記載した方がいいと思う。 <みんなができること> ①市内事業者や商工会議所、まちづくり団体、若者などが連携、協力して商工業の振興に取り組みます。	修正 追加

		②企業において、積極的に大学や研究機関と連携し、新しい技術や製品を開発します。 ③大野のいいものをSNSなどで紹介します。 ④災害に備えBCPを策定するとともに、社内でも定期的に防災訓練を行います。	
9：観光業	5	「課題④」に二次交通の充実を謳っているが、施策の記述がないので、次のとおり追加を提案する。 ＜施策1＞ ⑦貴重な二次交通としてのローカル鉄道である越美北線の利便性を高めると同時に、イベント列車等を企画し観光交通の主軸として活用する。	修正
10：働く環境	6	私が勤務している社会福祉施設では、近年、人材確保が大きな課題となっており、将来を見据えて外国人雇用も検討をしていたが、コロナの影響で進んでいない。何とかして施設利用者を支援・介護するために、定年を65歳まで延長したり、支援・介護職員の処遇改善（夜勤手当の増額等）を行い、運営をしている。そのような中、新卒の若い方が年に1人程度、就職してくれるという状況である。 勝山市は、平成29年度より、医療機関及び高齢者の介護サービス事業所の人材確保、定着のために、新卒者及び転入者を対象に、医療または高齢者介護の職場で働く介護職員に対して、3年間にわたり30万円の奨励金を交付する事業を制度化している。今年度から障害者施設も対象となった。大野市には、以前は新卒者に対して、支援金のようなものがあつたと聞いているが、社会福祉に就職する者とは限らずに、若者を応援するような支援事業があるとよい。障害者支援施設でも、利用者の高齢化による支援の負担が増加しており、若年層の力が必要となっている。ぜひご検討をお願いしたい。	
	7	コロナの影響で雇用状況にも影響が出ている。早く安心して働ける状況になってほしいと思う。 （コロナで状況が変わっていますが）業績は良いのに、人手不足で事業継続が困難となっている事業者がある。この人手不足の状況が何とかならないかと思う。 行政で、例えば、事業者の外国人労働者の受け入れに対し支援などはないか。 ＜みんなができること＞ ①新しい技術も利用し、労働者が働きやすい職場をつくります。 ②学生などのインターンシップに協力します。 ③若い世代に魅力ある職場環境をつくります。 ④高齢者や障害者、外国人などさまざまな人が活躍できるよう環境を整えます。 ⑤幸せに働ける職場をつくるため、従業員の意見をよく聞き、職場環境を見直します。	追加

11：自然環境・ごみ	8	自然環境とりわけ河川環境についての記述がないため、以下、追加提案する。 <現状> ⑦河川空間は貴重な自然環境の残された場所ですが、護岸やダム等の整備で水生生物の移動・生息環境が阻害されています。 <課題> ⑧河川・ダム・砂防・用排水等の各管理者による施設とその環境の改善が必要です。 <施策> 2 環境の美化および<u>自然の再生</u>と環境教育を推進します ④河川・ダム・砂防・用排水の各管理者に施設とその環境の改善を求めるとともに、市と市民が共同して自然環境の再生を図ります。	修正
14：消防・減災	9	現状③に対する「課題④」について、以下、追加・修正提案する。 <課題> ④赤根川改修事業は、河川整備計画に位置付けられているにもかかわらず、利水等の地元調整が進展しないため、事業着手できていません。一方、国・県においては、河川改修だけでなく、流域全体で減災に取り組む「流域治水」への転換を謳っています。 <施策> 1－③ 赤根川の流域において、<u>流域治水の各種施策の検討を進めるとともに、利水等の地元調整を進め、早期に事業着手するよう県に要望していきます。</u> 1－④ 清滝川の流域においても、<u>流域治水の各種施策の検討を進めるとともに、浚渫や伐採などを着実に進め、早期に河川整備計画に位置付けるよう県に要望していきます。</u>	追加
15：道路	10	<施策> 「施策2－①」において、「(道路を) 計画的に整備します。との記述では、改善方策が不明確なので、以下の記述に改める。 ①生活道路や通学路などの利便性と安全性を確保するため、道路空間の再配分により、歩行者の優先化を図ります。(路肩を広げ、車道を狭める等)	

16：公共交通	11	「施策１－①」において、「定期券や回数券の購入に対し助成します」との記述だけでは、不便な状況は改善できないので、以下の記述に改める。 <施策> ①JR 越美北線の利用促進を図るため、県や事業者の協力のもとに利便性を向上させるとともに、定期券や回数券の購入に対し助成します。（便数の増等）	修正
	12	子供は和泉地区より勝山まで通学している。通学に公共機関を利用したいが、越美北線・市営バス共に大野駅での京福バスとの乗り継ぎができない。現在は大野駅までは自家用車を使用し、その後京福バスにて勝山まで通学している。帰りは京福バスと越美北線を利用している。京福バスの本数についても少ない上に、バスの遅れなどがあり、朝１番のバスに乗っても定刻には到着せずに遅刻してしまうため、子供は勝山駅を迂回する手前で下車して、正規の使用できる切符の範囲より短い距離で降りて歩行にて高校まで通学している。バスが定刻に到着し登校の時間に間に合うのなら勝山高校まで乗車したいが、それでは遅刻してしまう。通学の時間だけでも路線変更（勝山駅経由はしない）の案も考慮して欲しい。勝山の市バスがあるため、その路線では勝山駅で下車する乗客はほとんどいないそう。京福バスの利用促進につながると思うので、検討して頂きたい。公共機関の運行は、住民の実際の利用に基づいて決定するよう、希望等を事前に確認していただきたい。 また、バスの定期券や回数券が高額なため、市で助成金などを考えて頂けるとありがたい。大野駅から勝山高校までの定期券は３ヶ月 49,590 円で、年間約 20 万円の負担になる。京福バスの助成金などは、勝山から大野への通学時は勝山市から助成金があるため、勝山市民は制度を利用している。JR 越美北線の助成は利用させて頂いている。	修正
17：ひと・地域	13	担い手不足など暗い内容が多いが、和泉自治会のように、人口が少なくても頑張っている地区もあるので、そのような事にも触れてほしい。	追加
全般	14	<みんなができること> 「ひと・地域」 ①地域の歴史や文化を若い世代に伝えます。 「地域福祉」 ②障害のある人が安心して生まれ育った地域で生活できるよう、みんなが障害についての理解を深めます。 ③困ったことがあったら、個人や家族だけで抱え込まず、地域の民生委員や市の窓口に相談します。 「スポーツ」 ④名水マラソンなど、スポーツ大会開催時にボランティアとして参加します。 「自然環境・ごみ」 ⑤必要のないものは買わずにごみの量を減らします。 ⑥エコマーク付き商品など、環境に配慮した商品を買います。 ⑦節電や節水など、省エネ活動に取り組みます。	追加

		「文化芸術」 ⑧地域の歴史に関心を持ちます。 ⑨市の博物館や美術館、音楽会や講演会などに積極的に見たり聞いたりします。	
	15	24の多岐にわたる項目の施策について、市民だれもがその通りだと思っていると考える。 今までにもこのような施策があったと思いますが市民の方々に伝わっていたのかどうか、疑問に思う。 さまざまな施策が市民一人一人に見えていたのか。施策の見える化などを行うことで、もっと市民を巻き込む取り組みを行うことで、この施策も生きてくると思う。	